

記者会見資料

【議事日程】

議会期間:9月3日(火)~9月27日(金) 25日間

【提出議案】

条例議案	4件 (改正4件)
一般議案	2件
補正予算	7件
決算認定	10件
合 計	23件

40

◎条例議案（4件）

○名張市監査委員条例等の一部を改正する条例の制定について

—総務部 総務室—

地方自治法の一部改正に伴い、関係条例について所要の改正を行おうとするものです。

○名張市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例の制定について

—総務部 総務室—

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の一部改正に伴い、同法の規定を引用している本条例の規定を整理するため、所要の改正を行おうとするものです。

○名張市手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定について

—都市整備部 都市計画室—

建築基準法の一部改正に伴い、同法の引用条文に生じた項ずれを整理するほか、所要の改正を行おうとするものです。

○名張市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について

—市民部 保険年金室—

国民健康保険法の一部改正に伴い、国民健康保険の被保険者証を廃止するため、関係規定を整理するほか、所要の改正を行おうとするものです。

◎一般議案（2件）

○財産の無償譲渡について

—総務部 公共施設マネジメント室—

近畿大学工業高等専門学校の学生寮として有償貸与している土地及び建物を令和6年7月に本市が取得したことに伴い、通学困難な生徒の安定的な住居確保とともに、人口減少下における高等教育機関の本市への定着に向けた環境整備を図ることを目的として無償譲渡をするため、地方自治法第96条第1項第6号の規定により議決を求めるものです。

○三重県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更に関する協議について

—市民部 保険年金室—

地方自治法第291条の3第1項の規定により、三重県後期高齢者医療広域連合規約の一部を変更する規約を定めることについて、関係地方公共団体と協議するため、同法第291条の11の規定に基づき議会の議決を求めるものです。



令和6年9月定例議会

定例記者会見

名張市

令和6年8月27日(火)



令和6年度 9月補正

令和6年度 一般会計補正予算(第3号)について

補正額 11億1,123万5千円の増額(補正後予算額 313億4546万9千円)

◎令和5年度決算に基づく予算措置 6億9,222万8千円(①+②)

<決算剰余金の基金積立>3億8,250万7千円…①

- 財政調整基金元金積立金…1億1,500万円
- 国民健康保険財政調整基金元金積立金…1億1,413万4千円
- 介護給付費準備基金元金積立金…1億5,337万3千円

<国県費等の返還>3億972万1千円…②

- 社会福祉総務費(重層的支援体制整備事業)…1,102万4千円
- 障害者福祉費(障害者自立支援給付費等)…5,079万8千円
- 児童福祉総務費(子育て世帯生活支援特別給付金給付事業等)…6,266万5千円
- 生活保護総務費(生活保護費等)…4,001万9千円
- 保健衛生総務費(新型コロナウイルスワクチン接種事業等)…1億4,507万2千円 など

◎その他の経費 4億1,900万7千円

- 子ども発達支援センター改修事業及び教育センター改修事業(子どもセンター雨漏り改修)…454万円
- 物価高騰対応重点支援給付金給付事業(令和6年度定額減税に伴う調整給付金等の追加)…3億7,800万円
- 観光振興対策費(地域おこし協力隊募集支援業務委託)…174万7千円
- 一般市道整備事業(大雨による市道復旧経費)…1,000万円
- 現年補助災害復旧事業(豪雨による市道災害復旧経費)…600万円 など

上記のほか、一般会計歳入において、令和5年度決算に基づく繰越金の追加(2億2,436万5千円)や令和6年度普通交付税の算定結果に伴う減額(△2億7,929万円)を行っています。

地域おこし協力隊募集支援事業 174万7千円

(特別交付税措置10/10)

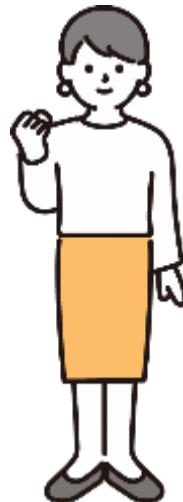
● 地域おこし協力隊の新規募集に係る業務委託 (令和7年度 観光系2~3人委嘱予定)

- 1.募集・受入の伴走支援
- 2.現地説明会の対応
- 3.募集WEBサイト及び広告媒体の管理・運営
- 4.現地体験会イベントの企画・運営

● 委託先

(一社)三重県地域おこし協力隊
サポートデスク

三重県全体の地域おこし協力隊の定住率向上に向けて、地域おこし協力隊OBらで、令和6年4月設立した団体
・定住率低迷のミスマッチの解消・改善
・受入、育成、定着の支援
・地域、隊員、自治体をつなぐ中間支援業務



※令和6年度
起業型地域おこし協力隊 2名 募集予定

江戸川乱歩生誕130周年記念事業 9万1千円

市制施行70周年、乱歩生誕130周年を記念した講演会、まちなか散策など
1日乱歩の世界に浸ることができるイベント



開催日 令和6年11月30日(土)

場 所 総合福祉センターふれあい
やなせ宿など

講演会

- 第1部 「乱歩はなぜ名張を“ふるさと”と呼んだのか」
秋永正人氏(日本推理作家協会会員、名張在住)
- 第2部 (仮)「サブカルチャーとしての江戸川乱歩」
小松史生子氏(早稲田大学文化構想学部教授)
- 第3部 パネルディスカッション

関連イベント

- ・まちなか散策
- ・やなせ宿での読書会



令和6年度 特別会計補正予算(第1号)について

5会計の補正額 3億2,432万4千円の増額

各会計において、前年度事業費の確定に伴い、一般会計繰出金や基金積立金を追加するなど、所要の措置を行っています。

- 住宅新築資金等貸付事業特別会計 36万1千円
- 東山墓園造成事業特別会計 550万円
- 国民健康保険特別会計 1億2,324万3千円
- 介護保険特別会計 1億8,823万6千円
- 後期高齢者医療特別会計 698万4千円

令和6年度 病院事業会計補正予算(第1号)について

- 病院事業会計 828千円
学生及び教員定期健康診断委託 債務負担行為(令和6年度から7年度まで)



令和5年度 決算

令和5年度 一般会計及び特別会計決算の概要について

- 令和5年度は、今後10年間の新たなまちづくりを進めていくための総合計画「なばり新時代戦略」の初年度として、特に、シティプロモーションや観光産業を「おこす」取組を重点的に推進するとともに、7つの基本施策に沿った取組を進めました。また、物価高騰対策として、国の交付金を活用し生活者支援や事業者支援の事業を行いました。
- 事務事業の見直しや経費節減、財源確保に取り組むとともに、給与独自削減の継続実施などにより、一般会計は翌年度への繰越額を除いた実質収支が5億2,436万5千円の黒字。他の特別会計も実質収支はすべて黒字でした。

(単位:千円)

区分	予算額	歳入額	歳出額	差引額	繰越明許費	実質収支額	2022 (R4) 実質収支額	単年度収支額
一般会計	34,088,559	32,369,929	31,801,606	568,323	43,958	524,365	536,133	△ 11,768
特別会計	住宅新築資金等貸付事業	5,229	4,721	4,340	381	0	381	405 △ 24
	東山墓園造成事業	50,304	48,630	45,329	3,301	0	3,301	2,867 434
	国民健康保険	8,381,799	8,387,126	8,218,206	168,920	0	168,920	206,399 △ 37,480
	介護保険	8,019,311	7,968,071	7,815,216	152,855	0	152,855	286,069 △ 133,214
	後期高齢者医療	2,078,229	2,072,866	2,064,881	7,985	0	7,985	3,645 4,339
	国津財産区	173	115	114	1	0	1	63 △ 62
	特別会計小計	18,535,045	18,481,529	18,148,087	333,442	0	333,442	499,449 △ 166,007
合計	52,623,604	50,851,459	49,949,693	901,765	43,958	857,807	1,035,582	△ 177,775

(注)表示単位未満を四捨五入しているため、差引等が一致しない場合があります。

令和5年度 健全化判断比率等について

1. 財政指標(普通会計)

(単位: %)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
経常収支比率	99.7	100.3	100.1	93.8	99.2	100.0
財政力指数(3ヵ年平均)	0.719	0.707	0.701	0.674	0.653	0.632

▶令和5年度は、保育士の処遇改善(賃上げ等)に伴い民間保育所措置費が増額したことや、高齢化に伴う障害者自立支援費や介護保険特別会計及び後期高齢者医療特別会計への繰出金が増加するなど、扶助費の経常的経費が増加したことにより、経常収支比率が令和4年度と比べ0.8ポイント上昇し100.0%となりました。

2. 健全化判断比率

(単位: %)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	—	—	—	—	12.63	20.00
連結実質赤字比率	—	—	—	—	17.63	30.00
実質公債費比率	16.0	15.8	15.7	15.5	25.0	35.0
将来負担比率	179.7	161.6	144.9	130.5	350.0	

▶実質赤字比率は、対象となる一般会計、住宅新築資金等貸付事業特別会計及び東山墓園造成事業特別会計がいずれも黒字決算でしたので、算定比率はありません。公営企業会計を含む全会計を対象とする「連結実質赤字比率」も、全会計で赤字が生じていないため、算定比率はありません。

▶実質公債費比率(3ヵ年平均)は、元利償還金の減少などにより、令和4年度に比べ0.2ポイント改善し15.5%となりました。

▶将来負担比率は、地方債残高の減少や、将来負担すべき地方債等から控除できる充当可能基金の残高(財政調整基金等)が増加したことなどにより、令和4年度に比べ14.4ポイント改善し130.5%となりました。

3. 資金不足比率

(単位: %)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	経営健全化基準
病院事業会計	—	—	—	—	20.0
水道事業会計	—	—	—	—	
下水道事業会計	—	—	—	—	

▶水道事業会計・病院事業会計・下水道事業会計はいずれも資金不足が発生していないため、算定比率はありません。

令和5年度 病院事業会計決算の概要

1. 事業概要

令和5年度の病院事業は、市立病院においては地域の中核病院として二次救急医療の堅持に加え、病院機能の充実に向けた人的資源の確保、さらには医療機器等の更新・整備を図るなど、市民に信頼される安心で安全な医療提供体制の継続・発展に取り組みました。また、看護専門学校においては、地域医療を担う看護師の養成に努めました。

令和6年1月には、市立病院が抱える課題の解決、また地域医療における役割を果たし、存続していくために有効との判断のもと、経営形態を地方独立行政法人とする方針を決定しました。

2. 業務実績

(1) 病院

()は令和4年度の数値

	入院	外来	合計
延べ患者数(人)	52,098 (51,018)	69,137 (70,743)	121,235 (121,761)
1日平均患者数(人)	142.3 (139.8)	284.5 (291.1)	

(2) 看護専門学校

()は令和4年度の数値

入学者数(人)	20 (23)	令和6年4月入学 (令和5年4月入学)
卒業者数(人)	11 (15)	令和6年3月卒業 (令和5年3月卒業)

令和5年度 病院事業会計決算の概要

3. 収入及び支出

(1) 収益的収入及び支出(税抜)(決算書 7ページ)

事業収益は50億8,218万1千円で前年度比12.7%(7億3,613万8千円)の減となりました。事業費用は53億4,324万6千円で前年度比0.4%(2,256万6千円)の減となりました。これらのことから収支差引額 2億6,106万5千円が当年度純損失となりました。

収益的収入

収益的支出

(単位:千円、税抜)

区分	金額	区分	金額	差引額
医業収益 (入院・外来収益等)	4,120,720	医業費用 (病院 紹介料・材料費等)	4,959,895	▲839,175
医業外収益 (受取利息・市負担金等)	823,844	医業外費用 (支払利息等)	241,709	582,135
看護学校収益 (授業料及び受験料・市負担金等)	124,477	看護学校費 (看護学校 紹介料・経費等)	120,903	3,574
特別利益 (過年度損益修正益等)	13,140	特別損益 (過年度損益修正損等)	20,739	▲7,599
収益的収入 計	5,082,181	収益的支出 計	5,343,246	▲261,065

(2) 資本的収入及び支出(税込)(決算書 6ページ)

(単位:千円、税込)

	金額		金額	差引額
資本的収入	581,480	資本的支出	868,916	▲287,436

(資本的収入額が資本的支出額に不足する額2億8,743万6千円は、過年度分損益勘定留保資金等で補填しました。)

※項目単位で四捨五入を行っているため、収支が内訳と一致しない場合があります。

※税込、税抜の税は消費税及び地方消費税を示します。

令和5年度 水道事業会計決算の概要

1. 事業概要

令和5年度の水道事業は、令和3年度からの10年間を計画期間とする“第2次名張市水道ビジョン”に基づき、老朽施設の更新・改良事業として、「桜ヶ丘取水所自家発電設備設置工事」等を実施するとともに、老朽管の更新及び耐震化として、「市道桔梗が丘5の101号線送水管Φ300mmほか更新工事」等を実施するなど、安全で安定した水の供給、災害に強い水道の整備に努めました。

2. 業務量

	給水人口	給水戸数	年間配水量	有収水量	有収率
当年度	74,521人	31,756戸	9,599,580m ³	8,878,266m ³	92.5%
前年度比	△1.2%	△0.2%	△1.4%	△1.6%	△0.2ポイント

3. 収入及び支出

(1) 収益的収入及び支出(税抜)

事業収益は16億8,885万3千円で前年度比0.8%(1,412万7千円)の減となりました。事業費用は18億3,240万4千円で前年度比1.0%(1,819万9千円)の減となりました。これらのことから収支差引額1億4,355万1千円が当年度純損失となりました。

	事業収益			事業費用			当年度純損失	当年度未処分利益剩余金
	営業収益	営業外収益	特別利益	営業費用	営業外費用	特別損失		
当年度(千円)	1,260,965	427,868	20	1,820,568	11,510	326	143,551	6,166,619

(2) 資本的収入及び支出(税込)

	資本的収入	資本的支出	差引額
当年度(千円)	641,392	1,526,555	△885,164

(資本的収入額が資本的支出額に不足する額8億8,516万4千円は、過年度分損益勘定留保資金等で補填しました。)

※項目単位で四捨五入を行っているため、収支が内訳と一致しない場合があります。

※税込、税抜の税は消費税及び地方消費税を示します。

令和5年度 下水道事業会計決算の概要

1. 事業概要

令和5年度の下水道事業は、令和元年度に改定を行った“名張市下水道整備マスタープラン”に基づき、合理的な手法の選択と計画的な整備を進め、市民の快適な生活環境の創造と公共用水域の水質保全に取り組みました。

建設工事については、管路施設整備として、「中央処理区幹線下水工事」等を実施し、また、処理場施設整備として、日本下水道事業団に委託し、「中央浄化センター増設事業にかかる建設工事」等を実施しました。

2. 業務量

	行政区域内 人口	処理区域内 人口	処理区域内 水洗化人口	普及率	水洗化率	汚水処理 水量	有収水量	有収率
当年度	74,780人	52,668人	47,890人	70.4%	90.9%	5,781,440m ³	5,174,616m ³	89.5%
前年度比	△1.2%	△1.3%	△0.6%	△0.1ポイント	0.7ポイント	1.0%	△1.5%	△2.5ポイント

3. 収入及び支出

(1) 収益的収入及び支出(税抜)

事業収益は24億8,859万6千円で前年度比1.9%(4,767万9千円)の減となりました。事業費用は24億3,845万7千円で前年度比1.9%(4,732万5千円)の減となりました。これらのことから収支差引額5,013万9千円が当年度純利益となりました。

	事業収益			事業費用			当年度純利益	当年度未処理 欠損金
	営業収益	営業外収益	特別利益	営業費用	営業外費用	特別損失		
当年度(千円)	900,515	1,588,081	0	2,242,776	195,275	407	50,139	34,509

(2) 資本的収入及び支出(税込)

	資本的収入	資本的支出	差引額
当年度(千円)	2,806,448	3,351,235	△562,637

(資本的収入額[翌年度へ繰り越しされる支出の財源に充当する額1,785万円を除く。]が資本的支出額に不足する額5億6,263万7千円は、過年度分損益勘定留保資金等で補填しました。)

※項目単位で四捨五入を行っているため、収支が内訳と一致しない場合があります。

※税込、税抜の税は消費税及び地方消費税を示します。



その他 発表事項

カスタマーハラスメント対策の実施について

職場内ミーティングによる意見等の集計結果（令和6年5月2日～24日）

これまでにカスタマーハラスメントを受けたと
感じたことはありますか？

- ・できないことを要求
- ・大声、怒鳴る
- ・繰り返しの対応
- ・長時間の拘束と対応
- ・暴言や暴行、脅迫や圧力
- ・「上司や市長」を出せとの要求
- ・公務員という立場への過剰な要求
- ・プライバシーに関わる質問

などの事例報告あり

カスタマーハラスメント対策として
職場にこうしてほしいと思うことは 209項目



具体的な報告例

- ・業務に直接関係ないことについて、1時間近く電話で苦情を受けた。
- ・電話にて何度も説明しても理解いただけず、ネットに書き込むと脅迫された。
- ・電話で暴言を吐かれたり、威嚇するような言葉遣いで話をされた。
- ・胸ぐらをつかまれた。
- ・名札を見て名前を何度も呼ばれて、しつこく怒られた。

カスタマーハラスメント対策の実施について

市民の皆さんからご意見ご要望は引き続き丁寧に対応しながらも、今後は以下の対策を進めます。

1.対応マニュアルの改訂及び全職員の研修実施

- 既存の不当要求行為等対応マニュアルをカスタマーハラスメント対応を踏まえた対応マニュアルに改訂
- 全職員を対象にした研修を実施

2.名札の表記を全庁的に名字のみに変更

- 職員に対する動画の無断撮影、SNS等へ個人を攻撃する迷惑行為を避けるため、名札の表記を所属名と名字（かな・ローマ字）のみに変更
- ※訪問等を行う業務がある職員への身分証明書交付を検討

人事研修室	
室長	やまだ たろう
山田 太郎	YAMADA TARO



人事研修室	
室長	やまだ
YAMADA	TARO

3.人事異動に係る報道発表を室長級以上に限定

- これまで人事異動時の発表は異動があった職員を全て発表していたものを、室長級以上に限定

4.市民への周知・啓発

広報及び市HPでの周知。市庁舎内でのポスター掲示

5.防犯カメラの設置等の検討

- 防犯カメラの活用と運用に係るルールの検討
- 通話を録音する場合がある旨を伝えるアナウンス導入の検討など

6.ICレコーダー等の機器の活用

- 録音や撮影などができる機器の職員共有

7.職員間の情報共有

不当要求やカスハラ事案を職員間で共有

名張市版20%ルール導入について

業務時間の20%を上限として他の所属の業務に

人事異動や動員によらず、職員が自らの意思によって担当業務以外の業務に従事できる環境を整備

- ・多様な経験の取得
- ・自らのスキルの活用
- ・人的つながりの構築

- ・職員のやりがいUP
- ・組織力の強化
- ・市民サービスの向上



参考先進事例

- ・環境省「霞が関版20%ルール」 令和2年10月～
- ・京都府木津川市「スキップ(SKIP)制度」 令和4年2月～

従事できる職員

- ・管理職、再任用、現業職、会計年度任用職員を除く職員
- ・直近3ヶ月の時間外勤務が月30時間を超えていない職員

従事できる時間

- ・勤務時間内で31時間以内
- ・勤務時間外で月15.5時間（2日）以内



従事できる業務

- ・概ね3ヶ月以内の期間の業務
- ・課題解決のための企画立案業務
- ・専門知識で組織貢献できる業務
（例）プログラミング、ICT教育サポート
　　通訳・翻訳のサポート
- ・一定期間の従事で、視野と人脈を広げ、知識や経験の習得ができる業務
（例）大規模な式典、祭り、展覧会等の運営サポート



日本オオサンショウウオの会について

第19回広島大会(R6) ⇒ 第20回名張大会(R7)に向けた取組

令和6年10月19日・20日 広島大会にて、次年度開催のPRを行います。

名張大会開催日 **令和7年10月18日(土)・19日(日)**

場 所 **adsホール**

・名張大会に向け、8月に実行委員会を立ち上げ、8月20日に第1回会議を開催
実行委員会:日本オオサンショウウオの会会长、名張市長

地域づくり組織会長、小学校校長、木津川ダム総合管理所職員、市職員など

・錦生赤目小学校における取組
令和6年4月から月に1度程度、オオサンショウウオについての学習や現地観察を実施

交雑種の特定外来生物の指定に伴う事務

- 1.防除の確認(捕獲等の手続)
- 2.飼養等許可(名張市郷土資料館プール及び館内)
- 3.飼養等許可(名張市役所<弥助>)

上記いずれも、内容について事前に協議した上で、7月25日
付けて中部地方環境事務所へ申請を行いました。



東京都豊島区 交流都市協定20周年 こども狂言ワークショップ

江戸川乱歩生誕の地「名張市」と終焉の地「東京都豊島区」が、平成16年3月30日に交流都市協定を締結し、今年で20年の節目となります。

乱歩生誕130年、そして豊島区にある乱歩ゆかりの立教大学も創立150年の節目の年であることから、大学敷地内のある立教小学校の児童と本市の子どもたちとが交流しながら伝統文化に触れることを目的とした「こども狂言ワークショップ」を実施します。

こども狂言ワークショップin東京都豊島区

開催日 令和6年10月18日（金）

場 所 立教小学校

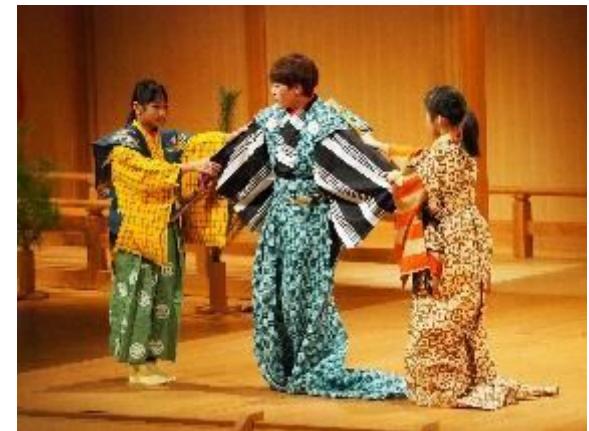
鑑賞対象児童 小学4年生 120名

講 師 大蔵流狂言師 茂山宗彦 氏

（日本能楽会会員・名張こども狂言の会指導者）

本市参加者 名張こども狂言の会 5名

（小学4年生～中学2年生）



※名張市観阿弥顕彰会の子どもの部として、平成3年4月に発足

小・中学生と高校生の14名が、毎月1～2回の練習

平成25年には、交流都市協定を締結した豊島区において、『民俗芸能inとしま』に出演しました。

移住体験ツアー 県×名張市×近鉄

「通勤できる三重」をテーマに移住体験ツアー

地方移住を検討している方などを対象に、大阪から仕事を変えることなく暮らすことができる近鉄沿線のアクセスのよい名張の魅力や暮らしを体感できるツアーを実施します。

対象者：関西圏在住の地方移住に関心のある20代～50代の方
5名程度を想定
9月中旬から募集開始

実施日 令和6年11月9日(土)・10日(日)

- ・三重県主催
- ・名張市はフィールドとして、体験メニューを提案
- ・協力事業者：近畿日本鉄道株式会社
往復運賃無料(乗車券+特急券)、大阪でのサイネージ広告



二地域居住・お試し移住

都市部と地方部とで2つの拠点をもつ暮らしを推進
場所に縛られない暮らし方や働き方の可能性あり。受け入れ自治体は移住・関係人口増への期待

第55回中部日本サイクリング大会in名張

名張を満喫! 淀川水系の4つのダムを巡るサイクリング大会

中部エリア7県（三重、愛知、石川、岐阜、静岡、富山、福井）の合同サイクリングイベント、地元グルメでおもてなし

実施日 令和6年9月23日（月・祝）
スタート&ゴール 名張市役所

主催:公益財団法人日本サイクリング協会
一般社団法人三重サイクリング協会

後援:名張市

協力:水資源機構木津川ダム総合管理所、三重県

※前夜祭（9月22日）:名張市のPR、淀川水系の紹介、コースの紹介

市役所で同時イベントを開催

- ・マルシェイベント（キッチンカーの飲食ブース出展）
- ・BMXデモンストレーション、体験教室
- ・交通安全フェスタ

